



オンラインコースシリーズ 英語指導法アドバンス・スキルアップ（集中セミナー修了者対象）

★募集人数：各講座20名ずつ★受講料：無料★参加はお申込み先着順

★コースA: テクノロジーを用いた授業：学び促すために役立つアプリ

担当：Janet Beth Randall（マカオ大学English Language Center 講師）

実施期間：2018年3月5日（月）～30日（金）

応募締切り
2/19
Mon

講座概要

教師にとって授業に役立つテクノロジーを身に付け続けていくことは容易ではありません。どのアプリや機器が、本当に生徒の言語習得や集中力の向上につながるかを見分けていくことは大変難しいことです。この4週間の講座は、教員の皆さんがすでにご存知のコミュニカティブランゲージティーチングの理論や指導計画と、それに役立つ新たなアプリや機器を結び付けていくものです。講座の中では、講座終了後に皆さんがすぐに自身の授業の中で活用し、生徒の学びを促すテクノロジーを身に付けていくことができるように、毎週、国内の英語教師と協働して新しいテクノロジーを試していきます。また互いの活動を共有することにより、更なる学びやフィードバックを得ることができます。

詳細

- ・マカオ大学教員と国際教養大学の協力によってすべてオンラインで提供されます。
- ・対象は日本人英語教師です。
- ・4週間のオンライン講座となります。約20時間の活動時間が必要となります。
- ・講座は全員が同時に受講するものではないため、受講者は自分のペースとスケジュールに合わせて課題に取り組むことができます。

★コースB: 中高英語教員対象TOEFL iBTの指導法

担当：James Sick（テンブル大学ジャパンキャンパス大学院教育学研究科）

実施期間：2018年7月28日（土）～8月31日（金）です（お盆期間の8月11日～17日を除く）

応募締切り
7/9
Mon

講座概要

文部科学省より英語スピーキングテストを必須とした大学入試制度改革が発表されました。この中で大学入試の英語の試験に代わり、TOEFL iBTなどの外部試験の得点の活用を可能にする案が示されています。TOEFLテストを受けることはアメリカ合衆国への留学を希望する外国人留学生の基本となっていますが、TOEFLについて詳しい日本人英語教師はあまりいません。この4週間の講座において受講者は、TOEFL iBTの4つのセクションにおける目的、内容、採点基準を学びます。まずはじめに、英語教育において身近な試験や基準である英検、IELTS、TEAP、CEFRとの比較を行います。その後受講者はTOEFLの練習問題に取り組み、TOEFLでスコアを伸ばすためのさまざまなストラテジーを学び、さらには高校生や中学生に指導する際に求められるストラテジーを身につけていきます。

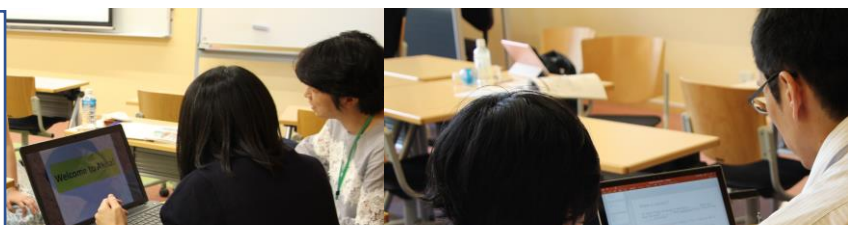
詳細

- ・テンブル大学ジャパンキャンパスの教員と国際教養大学の協力によってすべてオンラインで提供されます。
- ・対象は日本人英語教師です。
- ・4週間のオンライン講座となります。約20時間の活動時間が必要となります。
- ・講座は全員が同時に受講するものではないため、受講者は自分のペースとスケジュールに合わせて課題に取り組むことができます。



APPLY NOW

<https://goo.gl/PCNzcn>



お問い合わせ先:

国際教養大学 企画課 研究・地域連携支援チーム（担当：長谷山・小野）

TEL: 018-886-5904/5905 email: ettp@gl.aiu.ac.jp <http://web.aiu.ac.jp/35113/>